

写真学科

1年次入学・2年次編入学対象

配当 年次	必須 区分	科目名	授業 形態	概要	単位数		
					通信	面接	計
1年次	必須	写真史	講義	150年以上の写真の歴史を概観し、写真の発生とその変遷を体系的に理解していく。	4		4
		写真科学	講義	デジタル写真とアナログ写真の融合を考え、写真乳剤の基礎知識と銀塩写真応用知識を習得する。	2	2	4
		写真情報論	講義	写真と人間が、どのようにかわってきたかを考察し、写真文化の制度と機能を学ぶ。	2		2
		写真映像論	講義	写真映像の今日的な意味を考え、新たな写真映像論の行方を探る。	2		2
		フォトアートⅠ	演習	写真芸術の推移、各年代の代表的作品を取り上げ、その作画意図を追求・実践する。	2	2	4
	写真基礎実習Ⅰ	実習	写真表現に至るプロセスを理解・実践すると共に写真技術、表現技術の基礎を習得する。	2	2	4	
	選択 必須	スチール撮影Ⅰ	実習	写真表現として表情、質感など被写体と撮影者との人間的な関係性を重視した撮影をする。	2	2	4
ムービー撮影Ⅰ		実習	写真用カメラによる動画撮影と編集の基礎を学び、シナリオ作成を通じて動画コンテンツ制作の技術を習得する。	2	2	4	
2年次	必須	写真照明論	講義	人工光源を用いることにより、さまざまな被写体に対応するための具体的な方法を学習する。	2		2
		フォトアートⅡ	演習	被写体への認識と理解が、写真表現に大きな役割を果たしていることを実践的に学ぶ。	2	2	4
		写真基礎実習Ⅱ	実習	イメージ解釈や写真構成により、自己表現に必要な基礎的な写真技術の構築をめざす。	2	2	4
	選択 必須	スチール撮影Ⅱ	実習	ネットワーク化された世界での写真の表現技術など、デジタルでの写真応用を学習する。	2	2	4
		ムービー撮影Ⅱ	実習	写真用カメラによるインタビュー動画撮影の仕組みを理解し、ドキュメンタリー動画作品の制作技術を習得する。	2	2	4
選択	水中の世界	講義	水中撮影の基本的な知識と技術的な解決策に焦点を当て、日中シンクロの他、陸上でも使用するテクニックや応用できるヒントやトピックを、水中写真の実例を多数提示することにより感じ、学び取る。(3日間面接授業)		2	2	
3年次	必須	作家論	講義	写真史を通して写真家の作家活動を考察し、今後の写真の方向性を推察する。	2		2
	選択 必須	フォトアートⅢ	演習	写真表現を単写真と複数写真に分けて、その表現技術と方法論を研究し実践していく。	2	2	4
		テクニカルフォト(技術)	実習	写真の視覚効果を編集者の立場になって企画から編集、製本の過程までシミュレートし、考察する。	2	2	4
		水中撮影(技術)	実習	水中撮影の実践、フィールドワーク。受講者撮影データをスクーリング現場で講評する。2泊3日の海洋実習。 (受講条件:最低限バディ潜水が可能なレベルのCカードを保有している事/指導団体問わず。最終タイピングより3か月以上のプランクがある場合はフリッシュタイピングコースやプランクタイパーコースなどを受講したことをログブック等で提示できること。)	2	2	4
	選択	アートプロデュース	演習	撮影した作品を展示するまでに考えるべきこと、行うべき作業について受講時に持参した作品をもとに実際の展示空間を想定したプランニングと、広く作品をアピールするためのセルフプロデュースについて学ぶ。		2	2
クリエイティブスタジオワーク		演習	スタジオでプロ機材を使い、人物や商品のライティングや撮影方法を学ぶ。		2	2	
クリエイティブネイチャーワーク		演習	デジタル一眼を使ったスチール撮影及び動画撮影を使いこなせる技術と思考を学ぶ。ネイチャードキュメンタリー番組の制作や星空やオーロラ、発光生物など特殊機材を使った超高感度・超高画素撮影の技術やタイムラプスの効果的な撮影、ロケーションハンティングのユニークな方法等映像表現のレベルを高める。	2		2	
4年次	選択 必須	フォトアートⅣ	演習	デジタル・アナログ写真を使い、古典的手法の写真表現法を学ぶ。	2	2	4
		テクニカルフォト(表現)	実習	写真の分類や整理、マッピングによる写真のクオリティを保つ保存方法について考える。	2	2	4
		水中撮影(表現)	実習	さまざまな水中撮影手法の検証と考察、映像&スチールの新たな表現を考える。 (※受講条件は水中撮影(技術)と同じです。)	2	2	4
		素材と表現	演習	写真紙のみならず様々な支持体を使い写真表現の世界を広げる。		2	2
	必須	卒業制作	卒業	写真作家をめざした写真表現を追求する。		4	4
単位数 計					42	44	86

■概要については変更になる場合があります。

1年次入学・2年次編入学対象

●履修条件 修得順位を指定している科目は、下表の修得順位の順に履修してください。

修得順位 1	修得順位 2	修得順位 3	修得順位 4
フォトアート I ★	▶ フォトアート II ★	▶ フォトアート III	▶ フォトアート IV
写真基礎実習 I ★	▶ 写真基礎実習 II ★	▶ アートプロデュース	
スチール撮影 I ★	▶ スチール撮影 II ★	▶ テクニカルフォト (技術)	▶ テクニカルフォト (表現)
ムービー撮影 I ★	▶ ムービー撮影 II ★	▶ 水中撮影 (技術)	▶ 水中撮影 (表現)
			卒業制作

※「卒業制作」を履修するには、★の科目の修得が必要です。

3年次編入学対象

写真学科

配当 年次	必須 区分	科目名	授業 形態	概要	単位数		
					通信	面接	計
1年次	必須	写真史	講義	150年以上の写真の歴史を概観し、写真の発生とその変遷を体系的に理解していく。	4		4
		写真科学	講義	デジタル写真とアナログ写真の融合を考え、写真乳剤の基礎知識と銀塩写真応用知識を習得する。	2	2	4
		写真情報論	講義	写真と人間が、どのようにかかわってきたかを考察し、写真文化の制度と機能を学ぶ。	2		2
		写真映像論	講義	写真映像の今日的な意味を考え、新たな写真映像論の行方を探る。	2		2
		フォトアートI	演習	写真芸術の推移、各年代の代表的作品を取り上げ、その作画意図を追求・実践する。	2	2	4
		写真基礎実習I	実習	写真表現に至るプロセスを理解・実践すると共に写真技術、表現技術の基礎を習得する。	2	2	4
テクニカルフォトI		実習	写真表現として表情、質感など被写体と撮影者との人間的な関係性を重視した撮影をする。	2	2	4	
2年次		写真照明論	講義	人工光源を用いることにより、さまざまな被写体に対応するための具体的な方法を学習する。	2		2
		フォトアートII	演習	被写体への認識と理解が、写真表現に大きな役割を果たしていることを実践的に学ぶ。	2	2	4
		写真基礎実習II	実習	イメージ解釈や写真構成により、自己表現に必要な基礎的な写真技術の構築をめざす。	2	2	4
		テクニカルフォトII	実習	ネットワーク化された世界での写真の表現技術など、デジタルでの写真応用を学習する。	2	2	4
3年次		作家論	講義	写真史を通して写真家の作家活動を考察し、今後の写真の方向性を推察する。	2		2
	フォトアートIII	演習	写真表現を単写真と複数写真に分けて、その表現技術と方法論を研究し実践していく。	2	2	4	
	テクニカルフォトIII	実習	写真の視覚効果を編集者の立場になって企画から編集、製本の過程までシミュレートし、考察する。	2	2	4	
4年次	フォトアートIV	演習	デジタル・アナログ写真を使い、古典的手法の写真表現法を学ぶ。	2	2	4	
	テクニカルフォトIV	実習	写真の分類や整理、マッピングによる写真のクオリティを保つ保存方法について考える。	2	2	4	
	卒業制作	卒業	写真作家をめざした写真表現を追究する。		4	4	
単位数 計					34	26	60

■概要については変更になる場合があります。

●履修条件 修得順位を指定している科目は、下表の修得順位の順に履修してください。

修得順位 1		修得順位 2		修得順位 3		修得順位 4	
フォトアート I ★	▶	フォトアート II ★	▶	フォトアート III	▶	フォトアート IV	
写真基礎実習 I ★	▶	写真基礎実習 II ★					
テクニカルフォト I ★	▶	テクニカルフォト II ★	▶	テクニカルフォト III	▶	テクニカルフォト IV	
						卒業制作	

※「卒業制作」を履修するには、★の科目の修得が必要です。